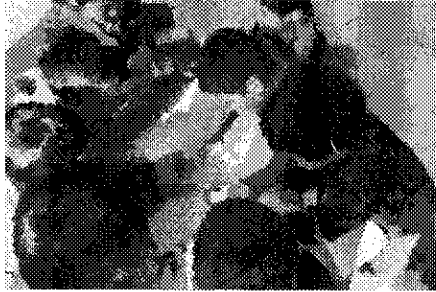


平成30年度国立教育政策研究所教育課程研究指定校事業

# 研究協議会 発表資料

平成31年2月5日(火)  
ビジョンセンター浜松町

## 平成30年度の研究の概要について



「あきのおもちやまつり」(1年)  
～ねんちようぐみとあそぼう～

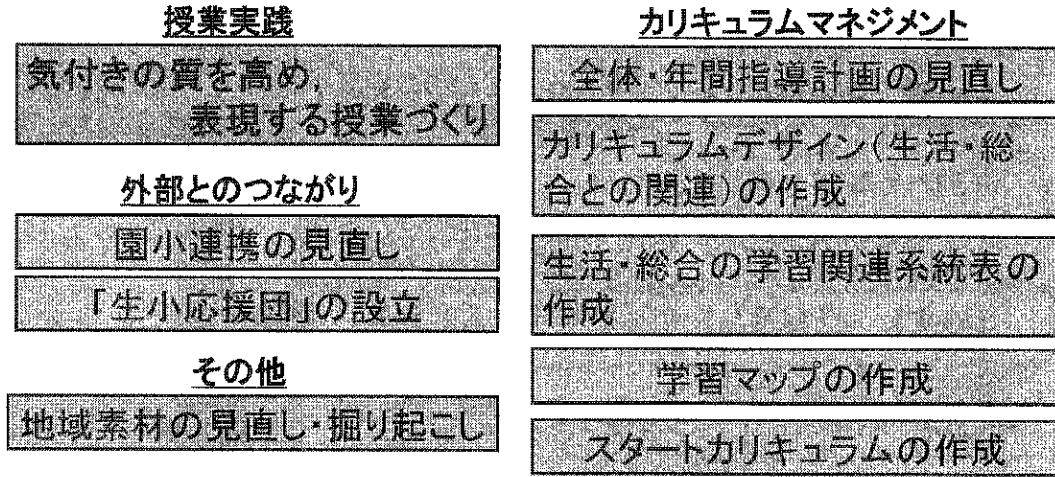


「もっとなかよし まちたんけん」  
(2年)  
～もっとなかよくなるう～

秋田県仙北市立生保内小学校

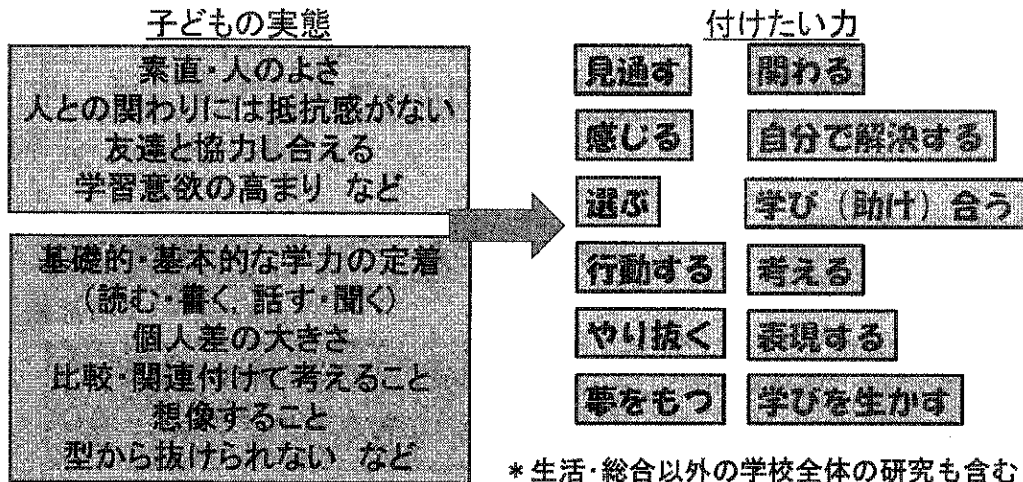
1

## 昨年度の主な取組



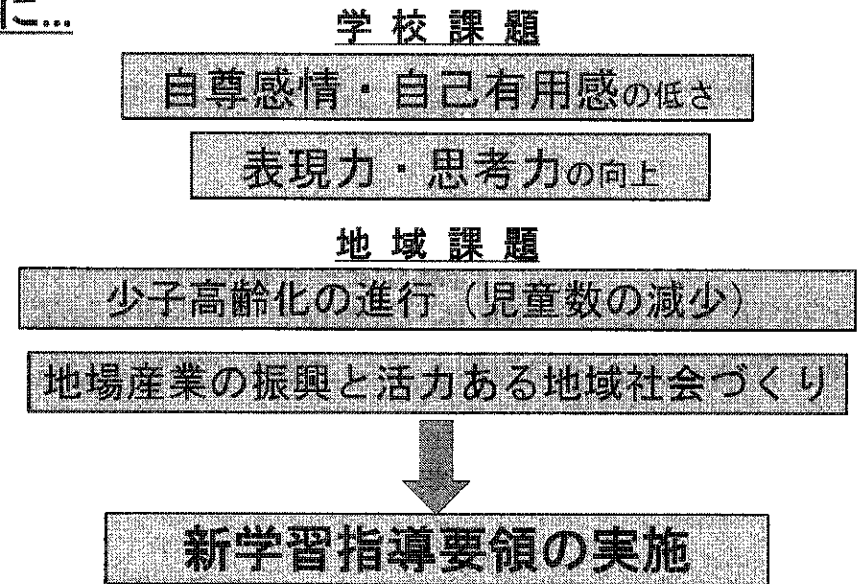
2

## 昨年度の研究を通じた実態と子供たちに付けたい力



3

## さらに...



4

# 今年度の研究

【学校全体の研究主題】

自ら課題をもち、進んで学ぼうとする子どもの育成  
～関わり合いながら、学びを深めていく指導を通して～

【研究のキーワード】



【生活科の研究主題】

思いや願いをもって「ひと・もの・こと」と関わり、  
気づきの質を高め表現する子どもの育成  
～地域とつながる生活科の授業を通して～

# 今年度の研究内容

- ① 体験と表現を繰り返す学習過程による気づきの質を高める授業改善
- ② 思考力と表現力を更に育成するための学習活動の充実
- ③ 生活科を中心とした合科的・関連的な指導等を通じたスタートカリキュラムの構想とその実施
- ④ 幼児期と中学年とのつながりを意識した2年間の学習活動の在り方
- ⑤ 生活科に関わる諸計画の見直しと活用

具体的な研究活動①

## 「単元構想図」の導入【資料⑩⑪】

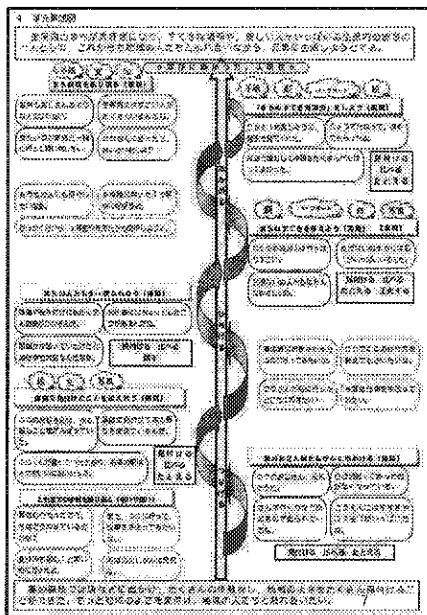
【ねらい】

単元を通して、  
子供の気づきが「どこで」「何が」生まれ、  
それらが「どう高まっていくのか」捉える。

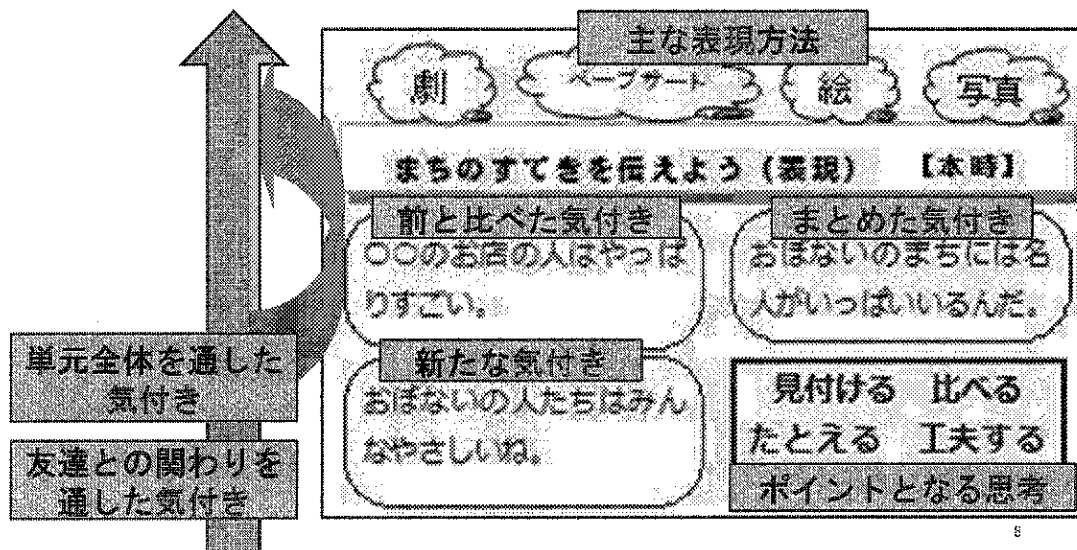
気づきの質の高まりを可視化したツール  
【気をつけたこと】

① 下から上へ行く矢印、左右に行く矢印  
それぞれがもつ意味  
例) どんなことを通して高まっていくのか

② 子供の言葉として  
記載する内容(意味)の確認



## ☆気づきの分析(想定する)→「見取る」から「見抜く」へ





### 思考力・表現力の育成

～「伝える力」～



2年まちたんけん発表会の様子から

☆自分が見付け、それを誰かに伝えたいという思いが強いほど、自然に「伝える力」が湧いてくるようであった。

### 【具体的な研究活動④】 スタートカリキュラムの構想と実施

～園小連携でのカリキュラムづくりの流れ～

- 研修会①（12月）  
「アプローチカリキュラム」についての意見交換
- 研修会②（1月）  
担当指導主事を招いてカリキュラムづくり研修会
- 研修会③（2月）  
「スタートカリキュラム」についての意見交換
- \*入学説明会（2月）にてスタートカリキュラムについて保護者に説明
- \*情報交換会（子供の引継ぎ）（3月）

☆互いの教員が直接顔を合わせて話し合いに臨むことで、忌憚のない意見を交わすことができた。また、それぞれのカリキュラムの基本の形が組み立てられた。

園小連携推進会議



### 具体的な研究活動④】 スタートカリキュラムの構想と実施 【資料①③】

**スタートカリキュラム 全体計画**

1. 目的

2. ねらい

3. 教育方針

4. 実施方法

5. 評価

**入学説明会用資料**

1. 園の概要

2. 教育方針

3. スタートカリキュラムの概要

4. 入学準備

☆保護者説明会で配付し、説明することで、安心感をもってもらうとともに、園とのつながりを知ってもらう機会となった。

☆全職員で共通理解を図るものとなった。

### 【具体的な研究活動④】 スタートカリキュラムの構想と実施 【資料④⑤】

～生活科「がっこうだいすき」の単元との関連を図りながら～



「がっこうたんけん」で放送室へ



先生たちとなかよくなるよ

単元	教科書	教材	活動	評価
1	がっこうだいすき	がっこうたんけん	がっこうたんけん	がっこうたんけん
2	がっこうだいすき	がっこうたんけん	がっこうたんけん	がっこうたんけん
3	がっこうだいすき	がっこうたんけん	がっこうたんけん	がっこうたんけん
4	がっこうだいすき	がっこうたんけん	がっこうたんけん	がっこうたんけん
5	がっこうだいすき	がっこうたんけん	がっこうたんけん	がっこうたんけん
6	がっこうだいすき	がっこうたんけん	がっこうたんけん	がっこうたんけん
7	がっこうだいすき	がっこうたんけん	がっこうたんけん	がっこうたんけん
8	がっこうだいすき	がっこうたんけん	がっこうたんけん	がっこうたんけん
9	がっこうだいすき	がっこうたんけん	がっこうたんけん	がっこうたんけん
10	がっこうだいすき	がっこうたんけん	がっこうたんけん	がっこうたんけん

具体的な研究活動④】スタートカリキュラムの構想と実施  
～スタートカリキュラムの記載内容・方法～

平成30年度		スタートカリキュラム		選業		*実施後		第 1 週				
生活科		生活科の指導に関連するもの										
日	9	【テーマ】「がっこうだいすき～はじめまして～」 小学校生活のだいたいの様子を知り、不安を解消しながら楽しく学校生活ができるようにする。						日 (水)	12	日 (木)	13	日 (金)
行事		スタカリの実施を通して得られたもの						園との情報交換で得られたもの				
朝		*写真会集		*写真会集 (巻末)		身体計測 下校後		1年生給食開始 清掃開始 子ども会				
1		学活 *9時～	学活	園工	学活	学活	学活	身体計測	学活	音楽	学活	国語

【具体的な研究活動④】スタートカリキュラムの構想と実施

スタカリ実施期間中の園の教員による授業参観の実施  
(園の教員の感想から)



子どもの様子について

入園して一週間経ち、緊張が少し安らいだのか、みんな仲が伸びて過ごしているという印象でした。入学前から『小学校』との交流も得てきているので、新しい場所でもあそび不安を感じていない様に見えました。

先生、お久しぶりです！

園での経験が生きている場面について

日々の遊びの中の試いや、失敗しりという経験が、作戦を立てる、友達と力を合わせるなどの姿(場面)につながっているのではないかと感じました。

私に居る時は姿勢が保たれるか、席に居るには、園生活の延長である体育、居る意識や、遊びながら筋力を鍛える動き等意識して取り入れた。

園での取組に参考になりたいこと

☆園小互いの取組の参考につなげることができた。

具体的な研究活動⑤】  
幼児期または中学年とのつながりを意識した指導  
～指導案への記載例～

1年生は「本単元につながる幼児期の子どもの姿」

園では、牛乳パックを使ってくまちゃんを作ったり、段ボールで店をつくり、毛糸を輪に見立ててラーメン屋さんごっこをしたりして遊んだ。また、ゴムを使って押すと飛ぶおもちゃやセロテープの芯を使って転がるおもちゃなど、それぞれの特徴を生かしたおもちゃもつづった。その他にも段ボールや画用紙、廃材など身近な材料を使って、様々なものをつくった経験をしている。

また、「トマトおに」や「バナナおに」など、多様なおにごっこ遊びの経験もあり、遊び方やルールを工夫すると遊びのバリエーションが増えたり、もっと楽しくなったりすることも知っている。

2年生は「本単元につながる中学年以降の子どもの姿」

本単元の学習は、中学年以降の社会科における社会的事象の気力・考え方を育成するという観点から、地域探検を繰り返すことによって、以前とは違うまちの様子に気付いたり、それぞれの子どもたちの探検先の店や建物が相互につながり合っている生活が成り立っていることを考えたりすることが、身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための防災生活の様子などを人々の生活との関連を踏まえて理解するという第3学年の社会科につながるものと思われる。

☆幼児期の「育ち」と低学年時の「学び」をつないだ指導を展開することができた。

【具体的な研究活動⑤】  
幼児期または中学年とのつながりを意識した指導  
～中学年でのつながりが見られる例～

社会科の目録

- 1. 社会科の学習の目的は?
- 2. 社会科の学習の意義は?
- 3. 社会科の学習の目標は?
- 4. 社会科の学習の到達目標は?
- 5. 社会科の学習の到達目標の達成を促す指導は?

3年社会科「学校のまわり」

☆生活科と社会科の学習との関連や接続、発展を感じることができた一例となった。

学校のまわりのおよそを絵地図にあらわそう！

## 自尊心・自己有用感の向上につながる指導

### 1年指導案より】

単元を通して、振り返りの際に「ありがとうタイム」を設ける。振り返りカードに友達への「ありがとう」を簡単に記入する欄も設け、「よいアドバイスもらった」「一緒に考えてくれた」など様々な「ありがとう」を伝え合うことで、**自尊心や自己有用感を高めていく**ことができるようにする。

☆他との関わりの場を意図的に設定し、その中でどんな学びをするのかを意識することによって、向上につながる事ができた。

### 2年指導案より】

単元を通して、これまでも触れ合ってきたことを振り返り、**向上につながる事ができた**ことを振り返りながら学習を進めていく。そのためには、**探検を通して自分たちに何かをしようという事に留めず、自分たちができることについても考えることで、地域で暮らす自分たちへの気付きにつなげ、自己有用感を高めていく**ことができるようにする。

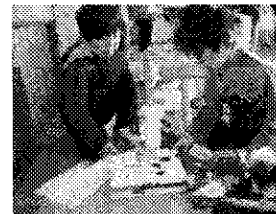
## 「あきの おもちゃまつり」(1年)

### ☆授業者の思い

- ・おもちゃづくりを通して、試行錯誤を繰り返しながら、思考力を育てたい。
- ・教師の関わり方(解決に導くとともに、子供の思考を妨げないような声かけ等)をより磨きたい。

### ☆具体的な手立て

- ・じっくりと活動する(対象と向き合う)時間を確保する。
- ・校務員、支援員等にも協力を仰ぎ、授業者は子供たちと多く関わり、問いかけたり、働きかけたりすることで、気付きを引き出すようにする。



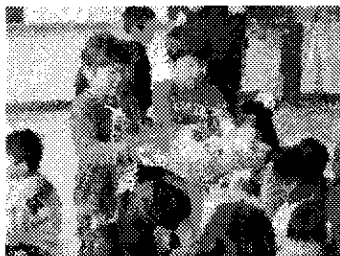
「とんとんずもう」をつくったよ

## 「あきの おもちゃまつり」(1年)【資料⑩⑭】

<p>【単元の目標】</p> <p>身近な自然物や身の回りにあるものを使っておもちゃをつくり、遊ぶ活動を通して、遊びやおもちゃを工夫してつくることができ、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。</p>
--

### 【単元の目標】

身近な自然物や身の回りにあるものを使っておもちゃをつくり、遊ぶ活動を通して、遊びやおもちゃを工夫してつくることができ、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。



えんのみんなをしようとしたよ

## 「あきの おもちゃまつり」(1年)

時数	主な学習活動
5	「おもちゃをつくろう」 ○公園や家などで集めた木の葉などを使ってどんなおもちゃができるか考える。 ○おもちゃをつくる。 ○自分がつくったおもちゃを紹介し合い、改良したりする。
4	「おもちゃまつりであそぼう」 ○グループで遊び方やルールを相談したり、おもちゃを改良したりする。 ○「秋のおもちゃまつり」を開き、互いのおもちゃで遊ぶ。 ○「おもちゃまつり」を振り返る。
3	「おもちゃまつりへようこそ」 ○園児と遊ぶためにどうしたらよいか考え、おもちゃやルールを工夫したり、改良したりする。 ○園児を招待し、一緒に遊ぶ。 ○学習を振り返る。



振り返りカードに書く





## 「あきの おもちゃまつり」(1年)

～成果(○)と課題(▲)～

○めあてや振り返りを紙に書いて残すことで、個々を見取り声かけに生かすことができた。また、子ども自身も個々の思いや願いなどが明確になり、活動に没頭することができた。

○友達との関わりの中に教師が入り、考える視点を与えることによって、よりよいものをつくらうとしたり、アイデアを出し合っって遊びを創り出したりする姿が見られた。

●小グループの活動場所を回り、活動の様子を見取りながら声かけをしたが、なかなかすべての子どもを見ることは困難であった。毎時間の計画に、TTを生かした、より効果的な見取りをするための策が必要であると感じた。

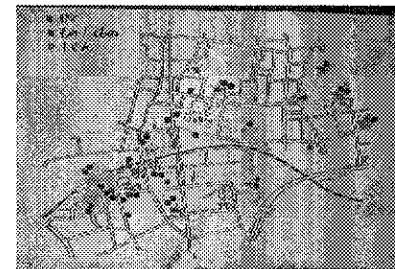
## 「もっとなかよし まちたんけん」(2年)

☆授業者の思い

- ・前回の探検とは異なる視点で「まち」のよさ(特に「ひと」)に気づき、地域への愛着をもつとともに、自分の成長に気付いてほしい。
- ・体験と表現の繰り返しを通して、そのよさをみんなに伝えたいという思いを自然にもたせたい。

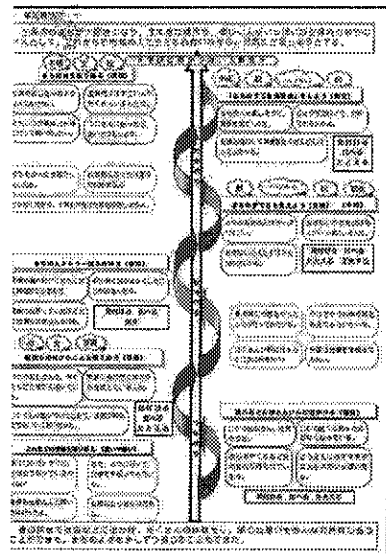
☆具体的な手立て

- ・探検で見つけてきたものを分類することを通して、「もの」「こと」が「ひと」につながることに気付かせたい。
- ・探検先では見学だけでなく、何かお手伝いを通して、「ひと」とのつながりをもたせる。



「まちたんけんマップ」 30

## 「もっとなかよし まちたんけん」(2年) 【資料①⑤】



【単元の目標】

○地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり働いたりしている人々と自分たちの関わりについて考えることができるとともに、自分たちの生活は地域の人々や場所と関わりをもっていることや地域のよさが分かり、地域の人々と適切に接したり、親しみや愛着をもって生活したりしようとする。

○自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んでふれ合い交流しようとする。

内容(3)と内容(8)の関連を図った設定

## 「もっとなかよし まちたんけん」(2年)

～単元の学習計画～

時数	主な学習活動
4	「おさんぼたんけんに出かけよう」 ○夏休みにつくったまち新聞を見合い、まちの魅力について発表する。 ○おさんぼ探検をする。 ○おさんぼ探検で発見したことを伝え合う。
5	「もっとなかよくなるう」 ○「もっとなかよくなりたい」「もっと見てみたい」と思う人やところを考える。 ○探検の計画を立てる。 ○探検に出かける。
9	「まちのすてきをつたえあおう」 ○探検を振り返り、表現する方法を選ぶ。 ○伝え合いの準備をする。 ○まちのすてきを伝え合う。 ○まちのすてきを学級の外に広める。 ○「まちのすてき発表会」をする。 天ぶらの揚げ方を紹介する。 ○学習を振り返る。



授業実践②

「もっとなかよし まちたんけん」(2年)

～おさんぽたんけんに出かけよう！～

「おさんぽたんけん」に出かける【準備】

おののおじさん、元気でございませう。	〇〇の近くにあったのがなくなっている。
おんまのりやぶのものがあつていませう。	このまのりやぶのものがあつていませう。

持ち物 紙 筆 袋とえ



前にあった建物がなくなっている。



もう冬に向けて準備をしているんだ。



ここに喫茶店があったんだ！こんにちは！



外国の人が田沢湖を見に来ているんだね。

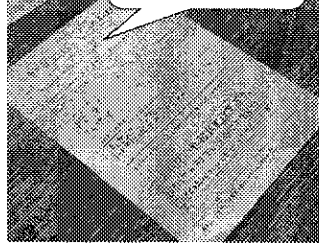
【授業実践②】

「もっとなかよし まちたんけん」(2年)

～もっとなかよくなるう～

まのりやぶの準備【準備】

準備や後片付けはたくさん時間がかかると。	おんまのりやぶの準備は、つぎあるんだ。
準備ができていたら、この仕事も大変なんだ。	準備は、紙 筆 袋とえ 試す。



もっとなかよくなるためには、どうしたらいいのかな？



クリームを塗るのを手伝わせてもらったよ。



どうしていつも同じ味になるんですか？

お店をきれいにしよう！

授業実践②

「もっとなかよし まちたんけん」(2年)

～まちのすてきをつたえあおう～

まちのすてきを伝えよう【準備】

〇〇のまちのすてきを伝えよう。	おんまのすてきを伝えよう。
おんまのすてきを伝えよう。	おんまのすてきを伝えよう。

持ち物 紙 筆 袋とえ



天がらのおいしさ、すこさを伝えよう！



お店にあった冷蔵庫はとても大きかったです。



お店の人はいろいろな工夫をしているんだね。

生保内にはいろいろなすてき人がたくさんいるんだね。

【授業実践②】

「もっとなかよし まちたんけん」(2年)

～成果(○)と課題(▲)～

- 行き先を決めずに歩く「おさんぽたんけん」を行うことで、地域の方からたくさん声をかけてもらい、子供たちが自然に「ひと」に目を向ける上で大変効果的であった。
- 繰り返し関わることでグループではあったが、子供たち一人一人がそれぞれこだわりをもって伝えようとしていた。
- ツアーという形で疑似体験的な伝え合いにすることで、自分の気付きが友達の発表を通して更に関連付けられた。
- ▲伝え合いを通して得られた子供たちの驚きや発見など新たな気付きをまち全体に広げるために、発表後、共有する時間をもう少し確保するとよかったのではないかと。

# 「もっとなかよし まちたんけん」(2年)

～地域の「ひと」とつながった一例～



「おさんぼたんけん」での偶然の出会

「もっとなかよくなるう」でご夫婦と一緒に畑仕事体験



子供たちの発表の様子を温かい眼差しで見守るご夫婦



子供たちがご夫婦に送った年賀状

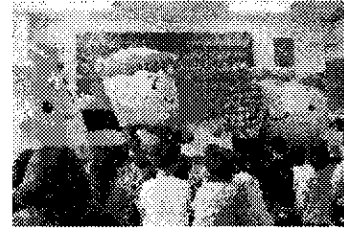


ご夫婦から届いた年賀状

# 総合的な学習の時間との関連

～地域素材を生かした探究課題の設定～

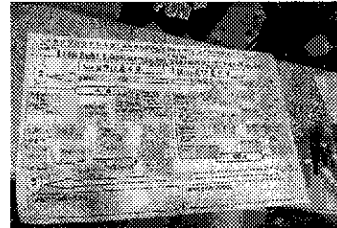
～思考ツールの活用～



すてき発見、田沢湖(3年)



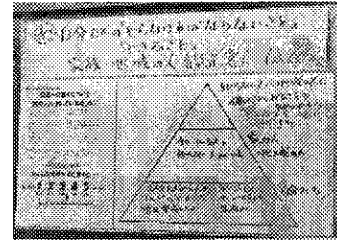
田沢湖のためにできることは(5年)



仙北市をPRしよう(4年)

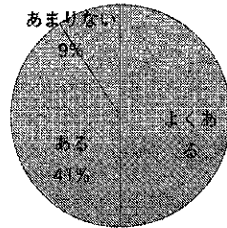
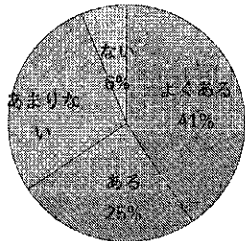


ふるさとの発展を目指して(6年)



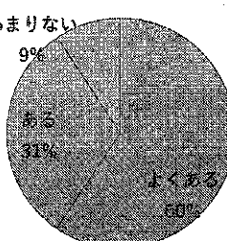
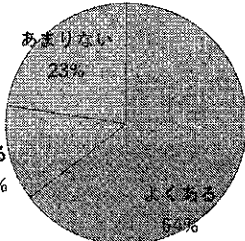
## 【検証】 「1年生児童アンケート」より

☆学習で見付けたこと・分かったこと・気付いたことなどを誰かに話したいと思うか。



昨年度同期より「よくある」「ある」の合計が25%上昇

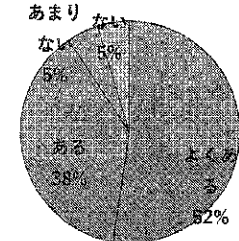
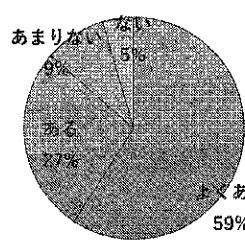
☆話合いを通して、なるほど・そうだったと思うことはあるか。



昨年度同期より「よくある」「ある」の合計が14%上昇

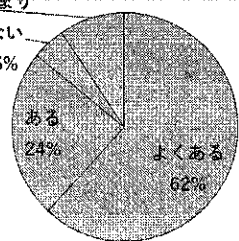
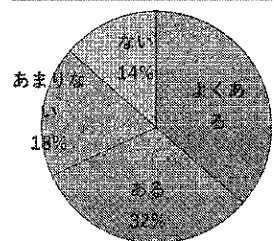
## 【検証】 「2年生児童アンケート」より

☆学習で見付けたこと・分かったこと・気付いたことなどを誰かに話したいと思うか。



昨年度同期より「よくある」が7%上昇

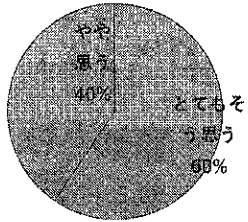
☆話合いを通して、なるほど・そうだったと思うことはあるか。



昨年度同期より「よくある」が26%上昇

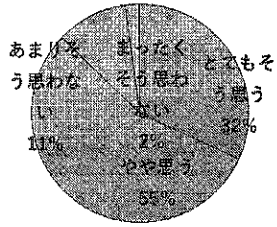
【検証】 「保護者アンケート」より

☆生活科の学習を好んでいると思うか。



昨年度同期より「とても思う」が4.5、9%上昇

☆地域に関心をもっていると思うか。



昨年度同期より「とても思う」が1.8、2%上昇

【検証】 「2年生の振り返りシート」より

☆1年生の時と比べて、成長したところは？

まちの人とながよくなっていろいろなことを知ることがあつたしのが(せいじょう)です。

みんながわかりやすく話し合いができるようになったところ

1年生のときはあまり自分だけがよいものを作らなかつたけど、2年生になってからは話し合いをいっしょにしようになったところ。

いろいろなことを知つて、いろいろなことができるようになったところ。

【検証】 「2年生の振り返りシート」より

☆見つけたこと・分かったことなどを友達に伝える方法で好きなものとその理由は？

(ほうほう)紙しばいでみんなにつたえる。  
(そのわけ)みんなのおかあさんに話してもうけたからです。

(ほうほう)レポートはひょうし(その作り)。  
(そのわけ)レポートはひょうし(その作り)よりわかりやすかつたから。

(ほうほう)いろいろなものをくまひょう(その作り)。  
(そのわけ)みんなのあつてそれを作るとみんながわかりやすくなるからです。



ラーメンと湯切りの網を作る

【検証】 「教師へのアンケート」より

今一度「子どもの思いや願いを大切にすること」が一番大事ということを強く感じた。また、そうすることで、どんな仕掛けをするよりも活動が盛り上がり、また表現したいという姿が見られたりすることが分かった。

生活科を通して、子供たち同士が関わり合うという学びの姿が見られた。どうすれば、うまく折り合いをつけ、グループで仲良く学習できるのかを日々学んでいる姿が見られた。

「ありがとうタイム」を設けることで、「友達のおかげでうまくいった、上手にできた」という自身の成長と、感謝される立場での「自分は友達の役に立ったんだ」という自己有用感の両方を味わわせることができた。

☆目指す子供の姿の達成度☆ \*今年度前半と後半の比較

「思いやりの心もち、仲間と力を合わせて生活する子ども」 2.5p→3.2p

「めあてをもち、課題や問題の解決に進んで取り組む子ども」 2.7p→3.4p

「困難に立ち向かい克服しようとする、たくましい心と体をもつ子ども」 2.4p→3.1p

## 成果】

- 1) 対象に対して多くの気づきをもち、主体的に学びを深め、学びに対する達成感や充実感を味わう姿
- 2) 言葉を基にした児童の思考力や表現力の向上
- 3) 自分の成長への気づきなどを通じた児童の自己有用感や自尊感情の醸成
- 4) 生まれた様々な気づきを表出させたり、他とつなげたりする言葉がけなど教師の関わり方の意識の向上
- 5) 教師の単元または授業のコーディネート力の向上

45

## 【成果】

- 5) 3学年以降の総合的な学習の時間の学習とのつながりによる6年間を通じたふるさと学習やキャリア教育に取り組むなど、学校全体での研究推進
- 6) 幼児期の経験を基にした小学校入学期の児童の安心した生活とゆとりをもった指導の展開
- 7) 他教科等と関連させながら焦点化を図った指導の展開



あさがおと向き合う1年生

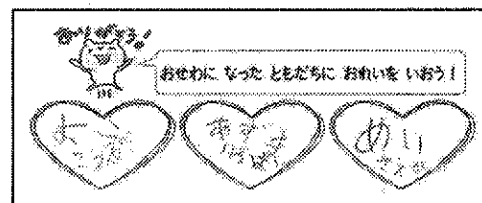
## 課題】

- 1) 観点や方法などの評価の妥当性・客観性
- 2) これまでの取組を基に、学校や地域事情、子供の実態等を踏まえた年間指導計画の見直し
- 3) 教師相互、園児と児童との交流等園小連携の持続可能な連携
- 4) 「生小応援団」をはじめ、地域や公共機関の方々と  
の持続可能な連携

47

## 【今後の取組】 ~2年間の取組を通して~

- 1) カリキュラムマネジメントを意識した持続可能な指導計画の工夫
- 2) 思考力及び表現力を更に伸ばすための学習指導の工夫
- 3) 学習意欲の継続・向上をはじめ、自尊感情及び自己有用感の醸成にもつながる振り返りの工夫



友達へのありがとう(振り返りカードより)(1年)



自信をもち自分の言葉で伝える(2年)

48